様式第１－２ （冒認対策商標申請用）

令和４年　　月　　日

公益財団法人京都産業２１

理事長　上田　輝久　様

申請者 住所　〒\*\*\*-\*\*\*\*京都府○○市  
○○○○○○○○○○○○

こちらは冒認対策商標用の交付申請書です。特許、実用新案、意匠、商標の場合は様式第１-１にご記入ください。

（※このテキストボックスは削除してください。）

名称　自然人にあっては氏名

及び代表者の氏名

令和４年度中小企業等海外出願・侵害対策支援事業費補助金

（中小企業等外国出願支援事業）

間接補助金交付申請書

　中小企業等海外出願・侵害対策支援事業費補助金（中小企業等外国出願支援事業）実施要領（２０１９０３１４特第３号。以下「実施要領」という。）第６条第１項の規定に基づき、上記間接補助金の交付について下記のとおり申請します。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和３０年法律第１７９号）、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和３０年政令第２５５号）、中小企業等海外出願・侵害対策支援事業費補助金（中小企業等外国出願支援事業）交付要綱（２０１９０３１４特第１号）及び実施要領の定めるところに従うことを承知の上申請します。

記

１．申請者種別（いずれかに○）　　　２．過去における本補助金の支援実績(いずれかに〇)

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①実績なし |
|  | ②実績あり |
| ②の場合、確認事項 | |
|  | 査定状況報告書を提出している |
|  | フォローアップ調査を提出している |

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①法人 |
|  | ②個人事業者 |
|  | ③事業協同組合等 |
|  | ④商工会、商工会議所 |
|  | ⑤ＮＰＯ法人 |

※実施要領第４条第１項第４号及び第２３条に

定める事項（補助事業完了後５年間の状況調査

（フォローアップ調査、ヒアリング等）、採択

案件の査定状況報告書の提出）

３．申請者の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資本金 | 従業員数 | 法人番号 | 業種 |
| 円 | 人 |  |  |

※個人事業主の場合、法人番号欄の記入は不要

【確認事項（□にチェック及び記入してください）】

大企業は実質的に経営に参画していない（みなし大企業に該当しない）ことに相違ない。

出資者と出資比率を記載してください。（株主名簿の提出で代替することも可）

|  |  |
| --- | --- |
| **出資者の名称** | **出資比率** |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |

※みなし大企業の定義は実施要領第４条第１項第６号（ア）～（エ）参照。

確定している（申告済みの）直近過去３年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が１５億円を超えていない。

※実施要領第４条第１項第６号（オ）参照。

　（過去３年分の課税所得額を記載してください。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **前年** | **２年前** | **３年前** |
| **課税所得額** | **億円** | **億円** | **億円** |

※上記への該当の有無の確認のため、必要がある場合には、納税証明書等の提出を求めることがあります。

４．申請案件種別

　　冒認対策商標

５．外国特許庁への出願の方法（該当するものに○（複数可））

|  |  |
| --- | --- |
|  | ①パリ条約等に基づき、外国特許庁への出願を行う方法 |
|  | ②マドリッド協定議定書に基づき、外国特許庁への出願を行う方法 |

６．外国特許庁への出願の基礎となる国内出願の内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 出願番号 |  | 出願日 |  |
| 出願人 |  | | |
| 登録番号 |  | 登録日 |  |
| 権利者 |  | | |
| 商標登録を受けようとする商標 |  | | |
| 商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務 |  | | |

※外国特許庁への出願の基礎となる国内出願が既に登録を受けている場合には、「登録番号」及び「登録日」も合わせて明記し、「出願人」と「権利者」が異なる場合は、それぞれ明記してください。

※基礎となる国内出願が複数ある場合には、それぞれ明記してください。

７．外国特許庁への共同出願の有無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 有 |  | 無 |  |

（有の場合）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共同出願人 | 権利の持ち分 | 費用負担割合 |
|  |  |  |
|  |  |  |

８．外国特許庁への出願に関する出願計画の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 商標登録を受けようとする商標 |  |
| 商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務 |  |
| 出願人 |  |
| 出願（予定）国 |  |
| 出願スケジュール |  |
| 基礎となる国内出願又は権利の内容に変更を加える場合、変更の内容と必要性を記入 |  |

※「出願人」の欄は、全ての出願人を明記してください。

※外国特許庁への直接出願で、日本における国内出願又は権利の字体等を変更して出願す

るなど国内出願又は権利の内容に変更を加える場合には、変更の内容と必要性を明記し

てください。

９．間接補助金交付申請額

　　　　　　　　 円

（内訳）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国名／合計 | 外国特許庁への出願手数料 | 現地代理人費用 | 国内代理人費用 | 翻訳費用 | 国別計／合計 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 外国出願経費合計 |  |  |  |  |  |
| 助成対象経費 |  |  |  |  |  |
| 持ち分に応じた対象経費 |  | | | |  |
| 間接補助金申請額 |  | | | |  |

※国別の外国出願経費の内訳、内訳項目ごとの助成対象経費及び間接補助金申請額を記載。

10．外国特許庁への出願の動機・目的（○を付すとともに説明を記載）

|  |  |
| --- | --- |
|  | 1. 外国における冒認出願を防止するため |

（説明）

|  |
| --- |
|  |

11．出願（予定）国を選んだ理由

|  |
| --- |
|  |

12．出願する商標を使用する製品等の概要

|  |
| --- |
|  |

13．出願（予定）国における先行・類似調査の状況

|  |
| --- |
|  |

14．過去における商標登録出願の実績及び権利取得状況（国内及び外国）

|  |
| --- |
|  |

15．外国特許庁への出願を依頼する国内弁理士等（選任代理人）

　　※選任代理人に依頼しない場合にはその旨及び選任代理人に依頼する場合と同等の書類

（間接補助金交付の必要書類）を自らの責任で補助事業者あてに提出できる旨を記入。

|  |
| --- |
| 事務所名：  所在地：  代表者：  担当弁理士：  連絡先電話番号：  メールアドレス：    （選任代理人による本事業への協力に関する承諾状況は別紙のとおり） |

16．外国特許庁への出願に関する他の公的機関（独立行政法人日本貿易振興機構含む）の助成制度の利用予定の有無（いずれかに○）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 有 |  | 無 |  |

（有の場合のその内容）

|  |  |
| --- | --- |
| 補助事業者名  （自治体等） |  |
| 対象となる案件の出願番号 |  |
| 出願国 |  |
| 助成制度の内容 |  |

17. 確認事項（□にチェック）

当補助金の事業において、外国出願に関する代理人契約、出願準備、出願手続きなどすべての作業は採択（交付）決定後に行い、事前着手を行わないことを確認した。

実施要領第４条第１項第４号及び第２３条第２項に定める事項（補助事業完了後５年間の状況調査（フォローアップ調査、ヒアリング等））、実施要領第２３条第１項に定める事項（採択案件の査定状況報告書の提出）について確認した。

実施要領第４条第１項第５号に定める事項（審査請求が必要なものについては、必ず審査請求を行うこと、中間応答の必要が生じたものについては、応答すること）について確認した。

実施要領第１３条第１項に定める事項（様式第３による計画変更手続きを行わずに実施した、本補助金に申請・採択された内容と異なる出願（出願の変更）は認められない点）について確認した。

実施要領第２２条第２項に定める事項（間接補助事業者の名称、所在地、交付の決定を受けた出願種別、法人番号、採択日、交付決定日、交付決定金額、確定金額の公表）について確認した。

　（※上記以外の事業計画等の申請内容については公表されることはありません。）

実施要領第２３条第１項に定める事項（放棄又は取下げ等を行わないこと）を確認した。

事業完了後、やむを得ない事情により、採択案件を万が一、放棄又は取下げを行わなければならなくなった場合には、必ず事前に補助事業者へ連絡し、承認を受けることを了承する。

添付書類の「登記簿謄本等の写し」、「住民票の写し」は申請時点における最新情報であることを確認した。

18．申請者の担当及び連絡先

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 担当者（職名及び氏名） | |  | | |
| 電話番号 |  | | メールアドレス |  |

様式第１－２の別添

役員等名簿（記載例）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名カナ | 氏名漢字 | 生年月日 | | | | 性別 | 会社名 | 役職名 |
| 和暦 | 年 | 月 | 日 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）

　役員等名簿については、氏名カナ（半角、姓と名の間も半角で１マス空け）、氏名漢字（全角、姓と名の間も全角で１マス空け）、生年月日（半角で大正はT、昭和はS、平成はH、数字は２桁半角）、性別（半角で男性はM、女性はF）、会社名及び役職名を記載する。（上記記載例参照）。

　また、外国人については、氏名欄にはアルファベットを、氏名カナ欄は当該アルファベットのカナ読みを記載すること。なお、役員等には監査役を含む。

別紙　資金計画(京都産業２１仕様)

外国特許庁への出願に要する経費に関する資金計画（自己資金・借入金等）

１．資金計画　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 金額 | 資金の調達先等 |
| 自己資金 |  |  |
| 借入金 |  |  |
| 間接補助金 |  | （公財）京都産業２１へ申請 |
| その他 |  |  |
| 計 |  |  |

２．間接補助金が受けられなかった場合、または申請額より減額して交付された場合の

　　対応策

以上